

わかやま国際交流通信

◆◆◆◆◆ 2日目 ◆◆◆◆◆

世界遺産研修ツアー

和歌山が世界に誇る高野山への研修ツアーが行われました。地元高野山高校の生徒と県内高校生代表が協力して案内役を務め、壇上伽藍・金剛峯寺・奥の院などの見学や、精進料理を体験。県外や海外からの参加者は、歴史ある高野山の雰囲気にとっても感激していました。



◆◆◆◆◆ 3日目 ◆◆◆◆◆

開会式

制服や民族衣装を着た参加者達が壇上に勢揃いし、開会式が行われました。仁坂知事からは“議論や行動を通じて、お互いの信頼と友情を築き、世界への一步を踏み出してください。”という激励の言葉がありました。また、生徒代表による、“様々な意見や考えに耳を傾け、議論し、それぞれの国・地域や世界に貢献しましょう”という力強い開会宣言がありました。

地域紹介

互いの理解を深めるため、参加国と地域の紹介プレゼンテーションが行われました。伝統文化・観光名所等、それぞれの国や地域の魅力は大変興味深いものでした。

分科会

“防災”、“環境”、“観光・文化”、“国際問題・国際理解・グローバル化”、“人権・教育”のテーマごとに分科会が実施されました。それぞれの研究成果が15分間のプレゼンテーションで発表され、コーディネーターによる進行のもと、オーディエンスからの質疑応答を受けるなど議論が行われました。また、夜には、翌日の全体会に向け、グループ毎に分科会での意見をとりまとめ、全体会での発表に向けての準備を行いました。そこでも活発な意見交換が行われました。



◆◆◆◆◆ 4日目 ◆◆◆◆◆

全体会

テーマごとにプレゼンテーションが行われました。分科会の内容をまとめながら、問題の提起と解決への提案が発表されました。全体会の発表者を県内の高校生が務め、素晴らしいチームワークによって行われたプレゼンテーションは、それぞれが重要なメッセージを伝えるものでした。鋭い質問にもそれぞれの的確に答え、客席からも惜しみない賛辞が送られました。



レセプション

緊張のプレゼンテーションが終了し、参加者はリラックスした雰囲気の中さらなる交流を深めました。ステージでは、日本の空手演武、ニュージーランドのハカ、台湾のオカリナ演奏、モンゴルの民族舞踊のパフォーマンスが披露され、大きな拍手が送られました。また、このフォーラムが素晴らしい経験となったことや、より良い世界のために共に頑張ろうという内容が述べられました。

◆◆◆◆◆ 5日目 ◆◆◆◆◆

交流プログラム

智辯学園和歌山高校で交流プログラムが行われました。ホールでの歓迎セレモニーの際の吹奏楽の演奏に、海外参加者は圧倒されていました。書道や茶道などのクラブ活動体験や、市内視察などを通じ、生徒同士の交流が図られました。

